

こども

# 子供のインターネットバイブル

あんない

案内いたします



したがわない  
もの  
わか者たち



ぶん  
文: E. Duncan Hughes

え  
絵: Jonathan Hay

かいさくしゃ  
改作者: Mary-Anne S.

ほんやくしゃ  
翻訳者: Yuko Kajiki  
監修者: Dan Ellrick

しゅつばんしゃ  
出版社: Bible for Children  
[www.M1914.org](http://www.M1914.org)

©2007 Bible for Children, Inc.

きよか 許可: たにん 他人に う 売らない かぎ 限り はなし このお話の また コピー、又はプリントは、  
きよか 許可されています。



ネブカドネツアル王は、<sup>おう</sup>大きな<sup>おお</sup>大きな<sup>おお</sup>金の<sup>きん</sup>像<sup>ぞう</sup>をつくりま  
したよ。それは、<sup>あし</sup>あたま<sup>さき</sup>のてっぺんから、<sup>あし</sup>足の<sup>さき</sup>つま先ま  
<sup>きん</sup>で金<sup>おう</sup>だらけ。<sup>なか</sup>たぶん<sup>かみ</sup>王<sup>かみ</sup>さまは、<sup>なか</sup>ゆめ<sup>かみ</sup>の中の<sup>かみ</sup>神<sup>かみ</sup>さま  
まの<sup>かみ</sup>ことば<sup>きん</sup>を、<sup>おうこく</sup>わす<sup>かみ</sup>れて<sup>かみ</sup>しま<sup>かみ</sup>った<sup>かみ</sup>のかも  
し<sup>かみ</sup>れ<sup>かみ</sup>ませ<sup>きん</sup>ん。神<sup>おうこく</sup>さまは、「<sup>かみ</sup>金の<sup>かみ</sup>王国<sup>かみ</sup>は、<sup>かみ</sup>なが<sup>かみ</sup>く  
つ<sup>かみ</sup>づ<sup>かみ</sup>か<sup>かみ</sup>ない<sup>かみ</sup>だ<sup>かみ</sup>ら<sup>かみ</sup>う。」<sup>かみ</sup>って、<sup>かみ</sup>言<sup>かみ</sup>わ<sup>かみ</sup>れた<sup>かみ</sup>ので  
した<sup>かみ</sup>ね。それ<sup>かみ</sup>とも、<sup>かみ</sup>王<sup>かみ</sup>さま<sup>かみ</sup>は、<sup>かみ</sup>こ<sup>かみ</sup>う<sup>かみ</sup>思<sup>かみ</sup>った<sup>かみ</sup>  
の<sup>かみ</sup>かな<sup>かみ</sup>?<sup>かみ</sup>もし、<sup>かみ</sup>金<sup>かみ</sup>ば<sup>かみ</sup>か<sup>かみ</sup>り<sup>かみ</sup>で<sup>かみ</sup>つ<sup>かみ</sup>く<sup>かみ</sup>った<sup>かみ</sup>像<sup>かみ</sup>なら、  
<sup>かみ</sup>神<sup>かみ</sup>さま<sup>かみ</sup>が、<sup>かみ</sup>ゆ<sup>かみ</sup>め<sup>かみ</sup>の中<sup>かみ</sup>で<sup>かみ</sup>言<sup>かみ</sup>わ<sup>かみ</sup>れた<sup>かみ</sup>と<sup>かみ</sup>お<sup>かみ</sup>り<sup>かみ</sup>に  
な<sup>かみ</sup>ら<sup>かみ</sup>ない<sup>かみ</sup>だ<sup>かみ</sup>ら<sup>かみ</sup>う<sup>かみ</sup>って<sup>かみ</sup>ね。



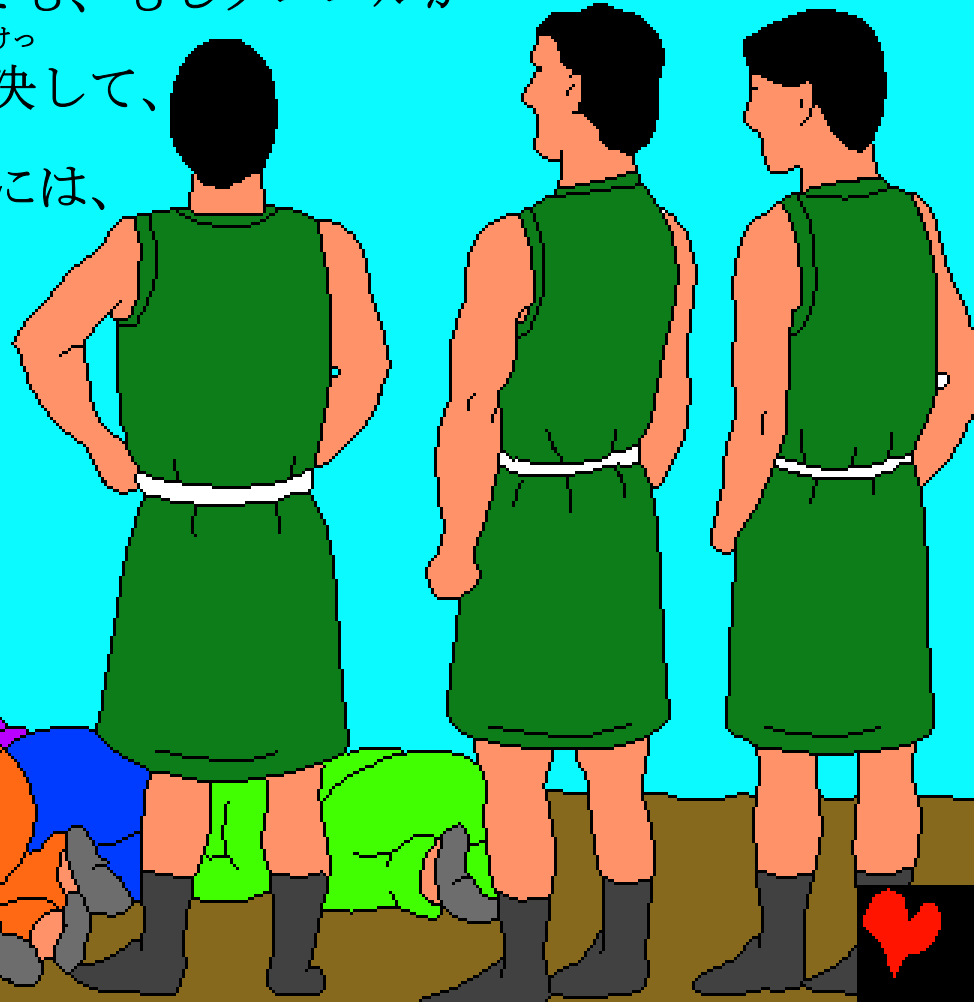
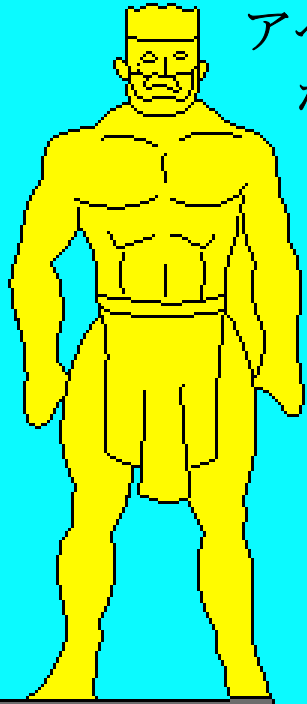
あるとき、王さまの召しつかいが、この国の人々に、  
こんな王さまのめいれいを、よみあげました。

「・・・みんな、金の像にひれふして、礼拝するように・・・。  
ひれふして、拝まないものはだれでも、火がぼうぼう  
と燃えているかまどの中に、なげこまれて  
てしまうだろう。」



もちろん、みんなは、王さまのめいれいに、したがいましたよ。いえ、いえ、  
言われたとおりにしない3人のわか者たちがいるようです。このわか者たちは、  
ヘブライ人。かれらは、ダニエルの友だちで、シャドラク、メシヤク、そして  
アベドネコたちでした。どうやら、そのときダニエルは、そこにい  
なかったようですね。でも、もしダニエルが

そこにいたら、かれも決して、  
人がつくったぐう像には、  
礼拝しなかったに  
ちがいありません。



おう つか とも おも  
王さまに仕えるはかせたちは、ダニエルとかれの友だちを、うらやましく思い  
ました。なぜなら、おう にん もの き い  
王さまは3人のわか者を、とても気に入っていたからです。  
そこで、はかせたちは、おう い おう ちほう  
王さまに言いました。「王さまは、バビロンの地方を、  
しはいするよう、にん もの  
3人のわか者をおかれました。シャドラクと、メシャクと、  
おう もの おう  
アベドネゴです。でも王さま、これらのわか者は、王さまのめいれいに、した  
がっていません。かれらは、おう かみ つか  
王さまの神さまに仕えないし、  
おう きん ぞう  
王さまがおかれた金の像も、  
おがまないので。」

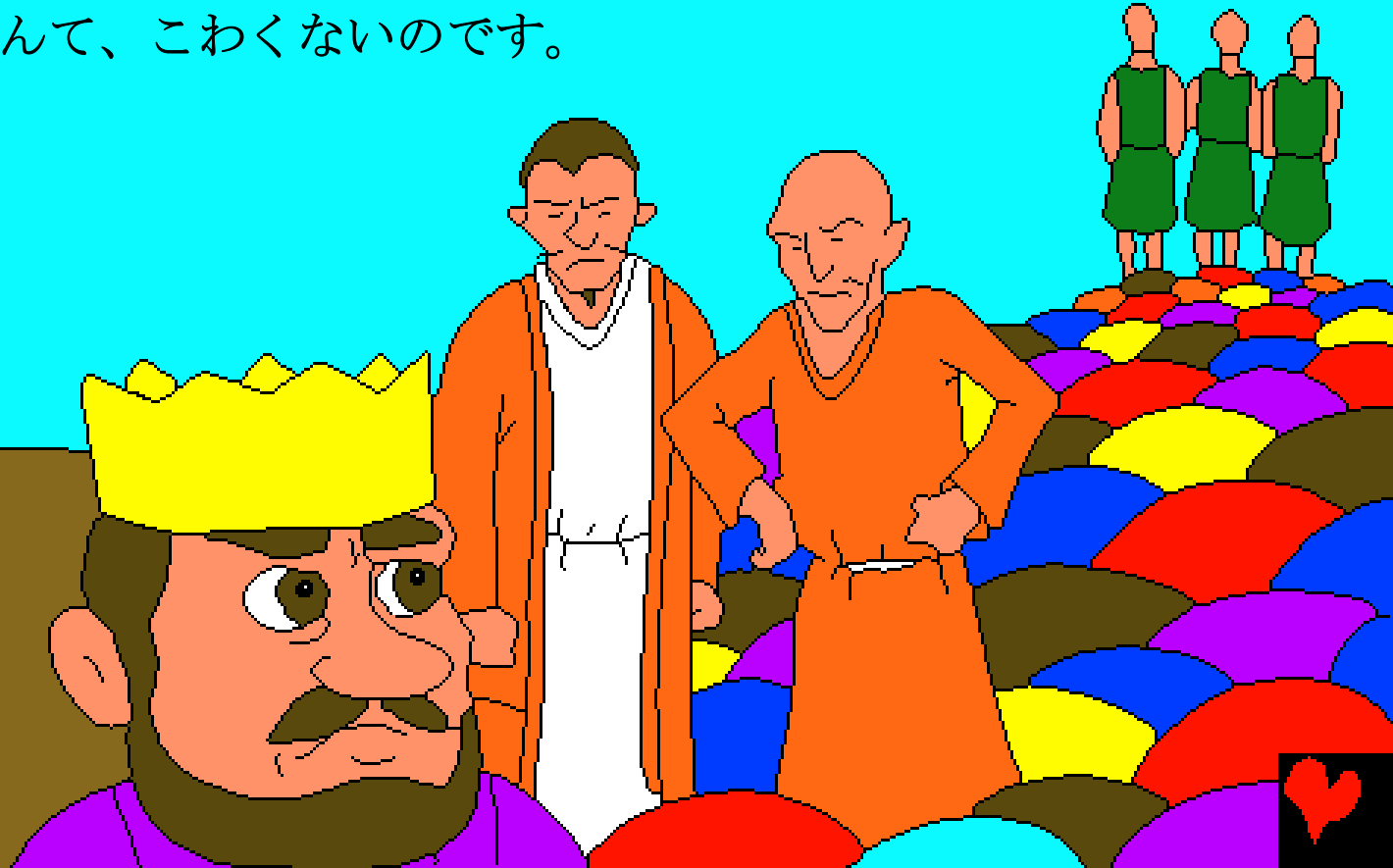


ネブカドネツアル王は、これらのわか者を、罰したくありません。でも、まえに  
王さまは、自分のめいれいにしたがない者は、だれでも罰せられると言ってし  
まったのですね。そこで、王さまは、3人のわか者に、おねがいすることにしま

した。「あなたがたの考えを変えて、王のめいれいにしたってください。」とね。そして、こう  
言いました。「もし、金の像をおがまないなら、  
あなたがたは、もえさかる火のなかに、なげこま  
れてしまうのだよ。そのとき、どの神が、あなたがたをすくってくださるのか。あなたたちは、  
わたしの思うようにされてしまうのだ。」



ここで、<sup>おう</sup>王さまは、<sup>おお</sup>大きなまちがいをしてしまったのです。だって、かれは、  
<sup>い</sup>ほんとうに生きていらっしゃる<sup>かみ</sup>神さまに、<sup>せん</sup>ちょう戦しようとしたのですから。  
<sup>にん</sup>3人の<sup>もの</sup>へブライの<sup>ぞう</sup>わか者たちは、<sup>かみ</sup>像をおがむことが、<sup>かみ</sup>神さまのおきてに、<sup>ぞう</sup>そむく  
ことだって、<sup>た</sup>わかっていました。だから、かれらは<sup>ぞう</sup>像の<sup>た</sup>まえで、<sup>た</sup>立ったまま。  
<sup>けっ</sup>決して<sup>もの</sup>おじぎは<sup>かみ</sup>しませんよ。どうしてって、<sup>しん</sup>わか者たちは、<sup>しん</sup>神さまを<sup>しん</sup>信じていた  
からです。<sup>おう</sup>王さまなんて、こわくないのです。

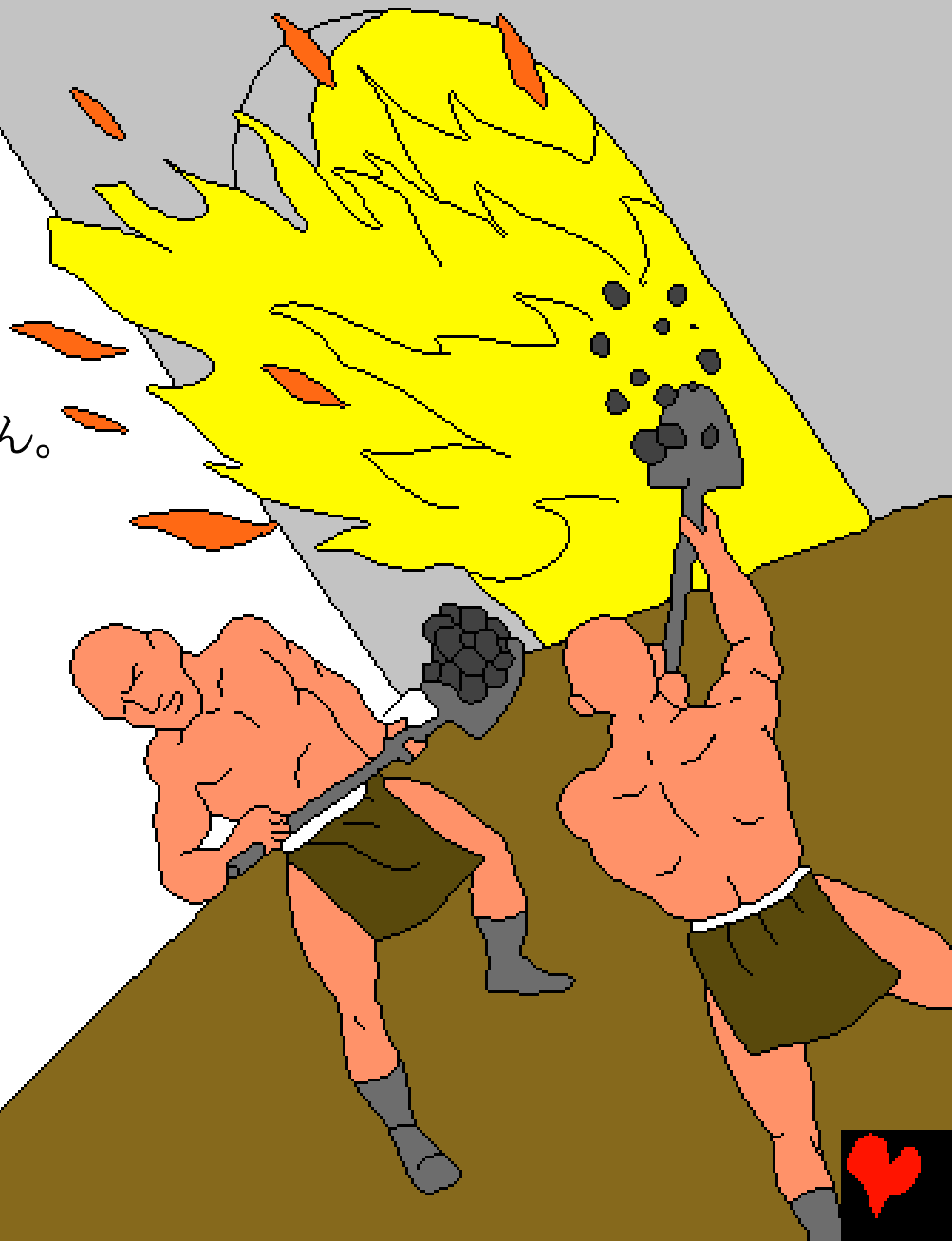


さあ、これら3人の<sup>にん ゆう</sup>勇<sup>もの</sup>かなわか者<sup>おう</sup>たちは、王<sup>ぼつ</sup>さまの罰<sup>お</sup>を、うけることになりました。  
かれらは、こう言ったからです。「王<sup>おう</sup>さま、わたしたちの神<sup>かみ</sup>さまは、もの  
<sup>ほのお も</sup>すごい炎<sup>だ</sup>が燃えあがっているかまどから、わたしたちを、すくい出<sup>おう</sup>してください  
ます。たとえ、すくい出<sup>だ</sup>されなかったとしても、王<sup>おう</sup>さまにこのことは、わかっ  
ていただきたいのです。わたしたちは、王<sup>おう</sup>さまの神<sup>かみ</sup>さまたちに、仕<sup>つか</sup>えないし、王<sup>おう</sup>  
さまが、つくられた<sup>きん ぞう</sup>金の像<sup>ぞう</sup>をも、おがまないでしょう。



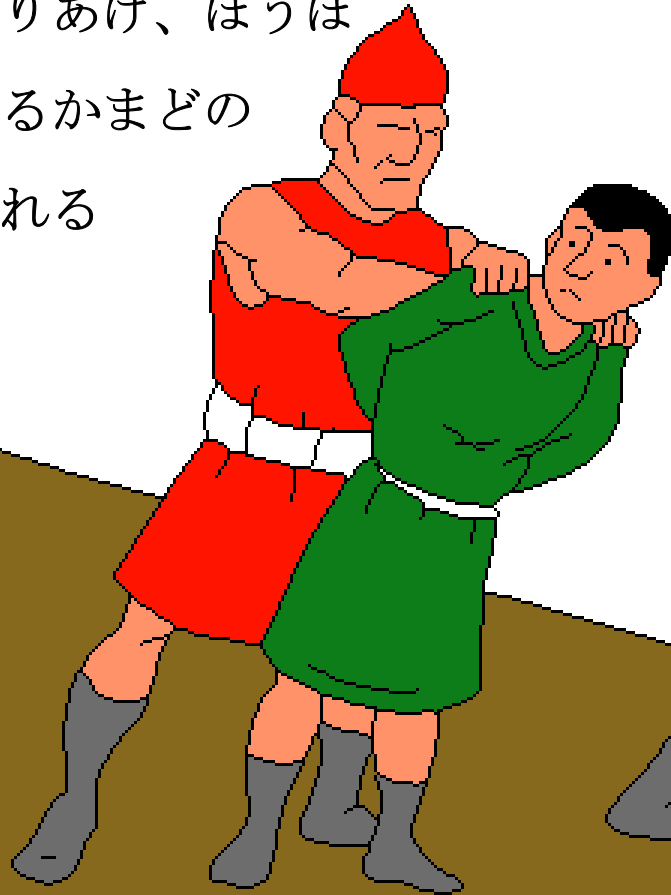
おう いか  
ネブカドネツアル王の怒りよう  
ったら、もう大変！すぐに、  
こうめいれいしました。

なか あつ  
「かまどの中を、もっともっと熱  
くして、いつもの7倍にするんだ！」  
た  
けれども、かれらは、やっぱり立  
ったまま。ひざまずこうとさえしません。



おう ぐん おとこ なか つよ しゃ  
王さまは、かれの軍たいにいる男たちの中で、とくべつ強い者  
たちにめいれいしました。「シャドラク、メシヤク、アベド  
ネゴを、しばりあげ、ぼうぼ

も  
うと燃えているかまどの  
なか い  
中に、なげ入れる  
のだ！」



ところが、かまどの<sup>なか</sup>中は、あまりにあつく燃えていたので、シャ  
ドラク、メシャクとアベドネゴを、なげこんだ男<sup>も</sup>たちは、  
その炎<sup>おとこ</sup>でやきころされてしまいました。



おう  
王さまは、かまどからはなれた安全なところで、そのようすを、見ていました。  
にん      もの      か      も      ほのお      なか  
3人のわか者が、ちょうどまっ赤に燃えさかっている炎の中に、なげこまれる  
ところをね。でもね、おう      み  
王さまが見たのは、それだけじゃなかったんですよ。



ネブカドネツアル王は、びっくりしましたよ！「われわれは、3人のわか者たち  
を、あついあついかまどの中に、なげこんだんじやな <sup>な</sup> かったのか。」王さま  
は、めし使いたちに、たずねました。

「はい、王さま、そのとおりでござい  
ます。」かれらは、こうこたえま  
した。「ほら、よくよく見るのだ！

わたしは、4人のわか者が、  
燃えさかる火の中を、じゅ  
うに歩きまわっている  
のが、見える。まるっきり  
ケガもしていないじやない  
か。しかも、4人目のわか  
者は、まるで神さまのむす子  
のようだ。ああ、いったい、  
これはどういうことだ！」



そこで、王<sup>おう</sup>さまは、燃<sup>も</sup>えさかるかまどのドアに近づいて、大<sup>ちか</sup>声<sup>おおごえ</sup>でさけびました。

「おうい、シャドラク、メシャクにアベドナゴ、

いと高<sup>たか</sup>き神<sup>かみ</sup>につかえるしもべたちよ！出<sup>で</sup>てくるのだ！」

そこで、シャドラク、メシャクとアベドナゴは、

そのあ<sup>なか</sup>つ<sup>なか</sup>いあ<sup>なか</sup>つ<sup>なか</sup>いかまどの中<sup>なか</sup>から、

出<sup>で</sup>てきました。



ええっ！火ひの中なかで燃もえなかつたって、ほんとう？みんなは、へブライの3人にんの  
わか者もののまわりに、あつまってきましたよ。そして、人々ひとびとは、そのつよい火ひが、  
まったくわか者ものたちを、やきころす力ちからがなかつたことが、わかりました。な  
ぜって、かれらのかみの毛けは、まったくこげていないし、服ふくもやけていないから  
です。かれらに、近ちかよつても、火ひのおいさえ、しないのです。



いま、なにがおこったのか、ネブカドネツアル王<sup>おう</sup>は、よくよくわかりました。  
そのとき、王<sup>おう</sup>さまは、なにをしたのでしょうか。とても正しい<sup>ただ</sup>ことをしまし  
たよ。王<sup>おう</sup>さまは、まず、お祈り<sup>いの</sup>して、こう言ったのです。「シャドラク、メシ  
ヤク、そしてアベドナゴの神<sup>かみ</sup>さまを、たたえよう！かれらの神<sup>かみ</sup>さまは、天使<sup>てんし</sup>を  
おくり、信じているしもべたちを、火<sup>しん</sup>の中<sup>ひ</sup>からすくい出<sup>なか</sup>してくださったのだ。」



もの  
したがわない わか者たち

かみ み せいしょ する  
神さまの御ことば、聖書に記されているおはなしです。

しょう  
ダニエル 3 章

み ひら ひかり あた  
あなたの御ことばが開かれると、光が与えられます。

しへん  
詩篇 119:130



おわり



せいしょものがたり わたし かみ  
この聖書物語は、私たちをつくってくださったすばらしい神さまについて、  
おはなししています。神さまは、あなたが、神さまのことをしてほしいと、  
おも  
思っています。

かみ わたし かみ  
神さまは、私たちが、よくないことをしてしまったことを、思っています。それを、神さま  
は、罪とよばれています。その罪のむくい、は、死です。

かみ あい ひとり こ  
けれども、神さまは、あなたをとて愛していますので、ただ一人のみ子イエスさまを、こ  
よ おく つみ し  
の世に送ってくださいました。そしてあなたの罪のために、十字架上で亡くなられたのです。けれども  
それから、イエスさまはよみがえられ、天国のいえへ、もどられたのです。もし、あなたがイエスさ  
しん  
まを信じ、ゆるしてくださいとおねがするなら、イエスさまは、ゆるしてくださいます！イエスさま  
いま ところ き なか す  
は、今、あなたの所へ来て、あなたのところの中に住んでくださいます。そして、いつまでもイエスさ  
まといっしょに生きることができますよ。

もし、あなたが、これがほんとうだと信じるなら、神さまにこう言ってください。  
あい かみ わたし かみ しん ひと わたし つみ な  
愛する神さま、私は、あなたが神さまと信じます。あなたは人となり、私たちの罪のために亡くなっ  
てくださいました。そして、よみがえって、いま生きて  
わたし なか き つみ わたし いま  
いらしています。どうか、私のところの中に来て、罪をゆるしてください。それで、私は今、あた  
らしい命をいただけます。そして、いつか、あなたの所へ行き、いつまでもあなたといっしょにいる  
ことができるのです。あなたにしたがえますよう、あなたの子として生きることができますよう、たす  
けてください。アーメン

せいしょ かみ ふくいんしょ  
まいにち、聖書をよみ、神さまとおはなししましょう！ ヨハネによる福音書3：16

